

《ひとつの歴史図式（アメリカに視点をあいた）》

14世紀末の文化革命 政治革命（1647、1776、1789）

**18世紀末大旋回** 産業革命（機械と大工業）—— 産業資本確立と近代プロ形成。「独自の = 資本主義的生産様式と資本による労働の実質的包摂の成立。

**19世紀末大旋回** 重化学工業化 —— 独占 = 帝国主義段階へ移行

《ヨーロッパ「旧世界」の危機（ロシア革命 - 「戦争と革命の時代」） = 同時に「新世界」アメリカの成立【資本主義のアメリカ的段階の発足 - 「旧世界」再建（「相対的安定」 冷戦体制包摂）とソ連の「一国社会主義」封じ込め、20世紀型社会主義転化】》

1. 大戦とロシア革命 —— 29年大恐慌 - 国独資転化
2. 大戦と中国革命 —— 冷戦 - 大陸的国家米（ソ）「体制的」独占 = 冷戦帝国主義（冷戦社会主義）へ  
総括

資本主義経済の統一的世界編制としては最高（最終）形態（最終の国際通貨体制としてのIMF = ドル体制の意味）同時に解体と20世紀末大旋回への動軸のbuilt-in（20世紀科学革命と冷戦と軍事IBとの連結 = 展開線）

**20世紀末大旋回** 冷戦体制解体と冷戦後世界再編を軸とする新たな「人類史的過渡期」の開始（Net先行 - Net対応 - Net包摂を基本軌道とし、資本と国家の止揚へと向かうそれ、Netにもとづく新しいInternationalの再建へ）

《冷戦体制解体の世界史的帰結 —— 20世紀型社会主義の終幕と資本主義のアメリカ的段階の終焉〔1個の略奪的覇権国家転落、総じて金本位制崩壊（29年大恐慌 - ）民族国家壊類（核冷戦体制移行 - ）の流れを締めくくる資本主義世界「総括」の最後の支柱 = 防塞の撤去〕、同時に情報通信革命と世界市場革命との世界史的相関の開始》

1. 1971-81-91 冷戦体制解体過程〔体制間軍事対抗の強圧と体制内統合の負担（「日本化」「アジア化」）の相関〕、ME = 情報化と金融自由化 = 国際化起動 レーガニズムへの総括（労働制圧とサプライサイド = リストラ、財政から金融への転轍）
2. 1991 - 95 - ポスト冷戦戦略下での情報 = 金融革命の新段階移行 —— Netの開設を一大画期とする情報通信 = 金融《新世界》の形成、その《新世界》の独占的掌握（「新独占」）をテコにその姿にあわせた（「グローバル・スタンダード」）旧世界の全般的リストラの強制、つまりはこの「人類史的過渡期」の《資本主義 = アメリカ的ラウンド》の本格的起動と「21世紀型危機」の開始へ。